

注意報

令和元年度病害虫発生予察注意報第1号

病害虫名 トビイロウンカ
作物名 水稻

1. 発生地域 県内全域
2. 発生時期 9～10月
3. 発生程度 多い
4. 注意報発表の根拠
 - (1) 8月下旬の巡回調査では発生ほ場率5.4%と多い発生です。
 - (2) 9月11日に県東部中山間地域の収穫間際の水稲1地点で坪枯れの発生を確認しました。
 - (3) 県平坦地域では、現在、株の黄化など坪枯れの前兆症状は認められていません。しかし、9月も高温傾向が続くと予想されており、本種の増殖に適した条件になると見込まれます。今後、中～晩生品種でも幼虫密度の増加に伴って被害が発生するおそれがあります。
 - (4) 奈良県農業研究開発センター（桜井市池之内）の予察灯には、8月下旬に断続的な誘殺が確認されています。
5. 防除上の注意事項
 - (1) 収穫間際の品種は、収穫適期の範囲内で早めに収穫します。
 - (2) ほ場全体を見渡して、坪枯れ前兆となる黄化が認められた場合は、その部分の寄生の有無を確認します。黄化が認められない場合は株元への寄生の有無を観察します。同一圃場でも発生に偏りがあるので、ほ場全体を広く観察して、発生状況を把握します。防除の目安は1株あたり成幼虫が3頭以上です。
 - (3) 薬剤散布時は株元まで薬剤が届くよう丁寧に行います。収穫期が近いので、ラベルを確認して収穫前使用日数や使用回数を遵守します。
 - (4) 薬剤散布時には、風向きに注意し、ほ場周辺への薬剤飛散防止に努めます。風の強い日には散布を控えるなど基本事項を徹底します。粉剤散布にあたっては特に注意が必要です。

表 トビイロウンカの主な防除薬剤

薬剤名	IRACコード	希釈倍数	収穫前 使用期間	使用回数
スタークル顆粒水溶剤	4A	3000倍	7日前まで	3回以内
アルバリン顆粒水溶剤	4A	3000倍	7日前まで	3回以内
トレボンEW	3A	1000倍	14日前まで	3回以内

※令和元年9月1日現在の登録状況です。

お問い合わせは

奈良県病害虫防除所

TEL. 0744-47-4481

その他関連情報は以下をご覧ください

病害虫防除所ホームページ

<http://www.jppn.ne.jp/nara/>

奈良県農業情報システム（農作物病害虫・雑草防除指導指針）

<http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/nara>